



## 「ドングリの不思議」

校長 藤田 賢一郎

9月の全校朝会では、大きな行事である体育祭を大成功させた生徒たちが、コロナ禍に屈することなく、学習やスポーツに取り組む「実りの秋」となるようにとの願いを込めて次のように語りかけました。

私たちの身の回りには「えっ、そうだったのか」と驚く事象がたくさんあります。そして、それが、さりげなく日常の言葉に表されていることもあります。例えば、「ドングリころころ」という童謡。皆さんも幼いころ歌ったのではないのでしょうか？この「ころころ」という言葉が、ドングリの特徴を的確に表しています。植物は自分の勢力を拡大するためにさまざまな戦略を持っています。ある植物は、甘い実をつけて動物に食べてもらう。動物は移動してふんをする。実の中の種は、消化できない殻で覆われているので、動物の移動先まで遠く運ばれ、そこで発芽する。羽毛のようなフワフワの綿毛で遠くまで飛んでいく、マジックテープのように鳥にくっついて遠くまで運ばれていくなど、植物の勢力拡大の戦略は多様です。ドングリは、「ころころ」と山の斜面をできるだけ遠くまでころがるようにしている、つまり「ころころ」の形状が、勢力を拡大するための戦略なのです。

山に住むリスやツキノワグマたちもドングリが大好きです。クマはドングリをたくさん食べて冬眠します。「山のドングリが不作であるため、ツキノワグマが人里に降りてくる」というニュースも時折聞きますね。ドングリは動物たちが冬を越すための重要な栄養源なのです。リスは、木の実が取れなくなる冬に備えて、ドングリを地面に埋めておきます。後で、掘り起こして食べるためです。しかし、たくさん埋めるので、リスは埋めた場所を忘れてしまいます。そして、リスが忘れて掘り起こさなかったドングリがやがて芽を出し、何年もかかって樹木に成長します。つまり、リスは知らぬ間にドングリの森を広げているのです。

リスの大好物のドングリを、縄文の時代から人も食べていました。でも、ドングリはそのままでは人間にはアクが強過ぎ、食べることはできません。そこで、ぐつぐつと煮てアクを取り、さらに水にさらしてアクを取ります。そして、アクを取ったドングリをすりつぶし、デンプン粉にしてお団子にします。このお

団子は大切な食糧だったはずですが、ドングリは、お団子にする栗という意味で「団子栗」と呼ばれていました。それがいつの間にかドングリになったという説もあります。

ドングリのなるカシやナラ、シイなどコナラ属の樹木は、根を深く広く張り巡らしているのです。土の中に多くの水を貯えます。ドングリのなる木がたくさんあるところは、年中水がかれることがないそうです。また、他の樹木に比べて根が深く広いドングリのなる木が多いと、大雨で樹木が倒れることによって発生する土石流が起きにくいそうです。ドングリの木は、私たちの生活に欠かせない水を貯えたり、大雨の被害を防いでくれたりしているわけです。

その他、ドングリは丸くて先端が尖ったものが多いため、コマなどの玩具として使われた歴史があったり、万葉集などの和歌にも読まれていたり「橡(つるばみ)の衣は人皆事なしと 言ひし時より着欲しく思ほゆ」(興味のある人は調べてみてください)、スペインには、ブタを出荷前に山に放してドングリを食べて生活させ、イベリコ豚と呼ばれるブランド豚としたりするなどもあります。

このように、秋によく目にするドングリは、野生動物にとって大切な食糧であるだけでなく、古くから森と人をつないできた奥深い存在でした。

実りの秋を迎えています。新型コロナウイルスによって制限されていることが多い現状ですが、皆さんは、コロナウイルスに屈することなく、感染拡大防止をしっかりと行ったうえで、大きな行事である体育祭を大成功させた集団です。腰を据えてじっくりと、学習やスポーツに取り組むとともに、自然の秘密を探ったり、文化や芸術にふれたりして大きく成長していく皆さんの姿を期待しています。

大人の視点では「コロナ禍が収束すれば、元に戻れる」と考えることができます。しかし生徒たちにとっては、一瞬一瞬全てが、一生に一度の学校生活です。生徒たちの輝きが心に刻まれる板倉中でありたいと職員一丸となって取り組んでいます。

保護者、地域の皆様からも、板中生の実りに向けた頑張り、ご支援のほどをどうぞよろしくお願いいたします。

# 轟け3つの輝き！！ 板中の体育祭開催

「体育祭を終えて感じたこと」

体育祭実行委員長 3年 H.R

今年は私たち3年生の三年間で、最初で最後の3軍編成で行われ、新型コロナウイルスの影響で様々な制限がある中、開催できたのは奇跡でした。実行委員長として何よりも開催できたことが嬉しかったです。当日できなかった1, 2年生のリレーは予行練習で行えて良かったです。今年の体育祭は、皆さんの協力のおかげで最高の体育祭に創り上げることが出来ました。来年も是非頑張ってください。

## 競技でこんな工夫をしました

昨年度、コロナ感染症対策として、多くの種目を見直しました。昨年は、例年行っていた騎馬戦やタイヤ引きなどをカットせざるを得ない状況で、どの種目を残し、どの種目を生かすのかを実行委員の生徒と共に考えました。引き続き、今年度もさらに厳しい状況の中、何度も実行委員の生徒が集まり、各学年の種目を1つカットすることを決めました。ただ、3年生は中学校生活で初めて、学級単位で行う体育祭です。そこで、「3年生の種目はカットせず当日行おう」との呼びかけに1, 2年生が応え、今回のプログラムが編成されました。当然、カットされた種目を担当してきた生徒にとっては、残念でなりません。そこで、当日カットされた種目は予行練習時に時間を設け、3年生が応援する中、競技を行いました。さらに、時間短縮のためカットされた全校種目の玉入れも、種目の練習時間に競技をして楽しみました。いろいろ工夫しながら、この厳しい状況下でも、それぞれの役割を果たし、企画した競技すべてを担当生徒が運営できたことは生徒の達成感につながったと思います。

## 今年も素晴らしい応援、パネルができあがりました

今年度はコロナ禍のため、応援では応援リーダーのみの応援、団員はダンスで勝負！という条件の下での応援合戦となりました。昨年以上に制限がある中でも、できることは最大限したいという生徒たちの思いが大変強く、3軍の個性がぶつかりあった応援になりました。「制限があってもここまでできますか？」「こんなことならしてもいいですか？」と各軍からアイデアが出され、非常に見応えがありました。緑軍の団長の独唱、青軍の「ハカの踊り」、紅軍の「強さと可愛らしさ」は観ている人の心を魅了しました。

パネルは、3軍とも大変甲乙つけがたい戦いになりました。毎年、体育祭に華やかさを添えてくれる応援パネル。緑軍「龍」、青軍「行燈」、紅軍「ピエロ」のテーマで描き上げたパネルは、躍動感に満ち溢れ、どれも今にもパネルから飛び出してきそうな勢いを感じました。パネル長を中心に例年以上に細部までこだわった作品に仕上げました。全校生徒がどの部門でも一丸となって活躍しました。





## 体育祭 1 年生の様子

応援、パネル、競技の運営、すべてが初めての経験であった体育祭。1 年生にとって、一つ一つの活動を通して大きな成長につながる行事となりました。中でも、各軍の応援リーダーは、競技の走順決めなど昼休みや休み時間のちょっとした時間を使って廊下で綿密な打ち合わせをしていました。自分たちでより良いものにしようとして一生懸命に活動する姿は頼もしく思えました。また、学年種目「僕らはまちの掃除屋さん（荷物運びリレー）」では、級長会が、競技の内容やルール、役員の動線など、競技の細部まで綿密な打ち合わせを何度も重ね準備をし、当日は1 年生全員が楽しく競技をすることができました。ある応援リーダーは、「僕は体育祭で一つのことを成功させた経験を通して、以前よりこつこつと努力できるようになりました」と振り返っていました。また、ある級長会の生徒は、「準備などで、昼休みや放課後がなくなったりしたけど、みんなのためにやっていることなので、自分は苦しく思わなかったです。体育祭を楽しむことができました」と振り返っていました。それぞれがそれぞれの立場で一つの行事を楽しみ、自分自身の成長につなげていたようです。



## 体育祭 保護者PTAの取組



熱中症予防対策として、プロティを利用しての応援席設営のほかに、昨年度同様に屋外用テントを4張、簡易テントを6張設置しました。保護者の皆様から朝7時前にお集まりいただき、テント設営と、生徒が作ったパネルの取付・展示のお力添えをいただきました。50名の方からお手伝いいただき、昨年以上にスムーズに体育祭が開始ができました。また、12時からの片付けもお手伝いいただき、生徒たちを早く下校させることもできました。深く感謝申し上げます。

コロナ禍で制約はありましたが、競技も多くの方より激励いただきました。昼の応援合戦のころには、210名のご来場がありました。

## 全国大会出場(9位) 男子100m M.T

### 全国大会に参加して

3年 M.T

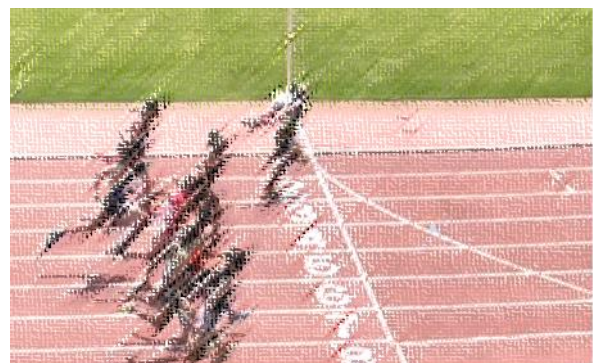
予選は、組2着で、11秒40。全体16位でギリギリ9位から16位を決めるB決勝に残りました。僕のライバルである県1位の選手は、A決勝に進んだので、正直とても悔しかったです。ですが、B決勝に残ったからには、そこで1位を取ってA決勝の1位のタイムを超えてやるという気持ちで走りました。B決勝では1位で、全体で9位という順位で全国大会を終えました。

本当に、皆さんの応援が、力になりました。ありがとうございました。

僕はここで終わりだとは思っていないので、この全中9位を誇りに思い、これからの陸上人生も充実させていきたいと思います。恵まれた環境で陸上に取り組めることや、大会を開催していただいたことに感謝し、来年も活躍することを誓います。

昨年度は中止となり、2年ぶりの全中陸上大会が茨城県ひたちなか市で開催されました。万全の新型コロナウイルス対策の下、熱戦が繰り広げられ、好記録が続出しました。そして、新潟県選手団の活躍は素晴らしいの一言でした。

強い向かい風が吹き、組ごとに風の強さが違う悪条件の中で、自分の走りを貫いたM.Tさん。B決勝の走りは、圧巻でした。



《B決勝ゴール!! 圧勝でした!》

## 東京 2020 パラリンピック聖火フェスティバル

学校代表2名の生徒が参加しました！

8月に上越市で行われた採火式・集火式に、2名の生徒が参加しました。貴重な経験をした2人から、感想を聞かせてもらいました。

採火式に参加して 生徒会長 F.K

私は、パラリンピック採火式に参加することができて、とてもうれしかったです。一生に一度体験できるかどうかわからない「採火式」なので、緊張もしましたが、この火がパラリンピックの聖火になると思うと、わくわくする気持ちもありました。聖火にたくさんの想いを込める「採火式」の一員として参加できたことは、私にとって大事な経験になりました。



集火式に参加して

副生徒会長 U.R

まず、このような大事な式典に携わることができてうれしかったです。とても貴重な経験ができました。日本でパラリンピックが開催されることを通して、「障がい」という壁をなくすことができたら、世の中にあるさまざまな差別が減り、一人一人の個性をもっと生かせる社会になると思います。そんな思いを強く感じた式典でした。またこうした機会があったら、ぜひ参加したいです。

## 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果が届きました

5月27日(木)に、3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が届きました。この調査は、「児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる」ことを目的に行われており、今年度は「国語」「数学」「質問紙調査」が行われました。詳しい分析はこれから行い、10月号でお知らせします。今回は、「国語」「数学」の概況のみをお知らせします。

	平均正答率(全校平均と比べて)	概況
国語	同程度	「言語に関する知識・理解・技能」が全国平均を上回っていました。「書くこと」の力を伸ばすことが課題です。
数学	やや下回る	「図形」分野が全国平均を上回っていました。「数と式」の力を伸ばすことが課題です。

## ◇部活動の設置数見直し・再編に向けた検討の進捗状況をお知らせします

8月号では、生徒数の減少によって現在の部活動運営の継続が難しい状況であるため、部活動の設置数見直しや再編に向けた検討を始めることをお伝えしました。9月号では、検討の進捗状況をお伝えします。

### 全ての部活動を見直し対象として検討しています

これまでの活動の成果（部としての伝統 現部員や保護者、地域の皆さんの応援や期待など）から、7つ全ての部活動が、板倉中学校にはなくてはならない存在です。そこで、全ての部活動を見直しや再編の対象として、検討を進めます。具体的には、各部活動について、どのように見直したり再編したりすれば、生徒が情熱を傾けて生き生きと活動できる安心・安全な部活動とできるか、存続と割愛の両面で検討します。

### 多角的な情報収集により、見直しや再編を方向付けしていきます

検討に際しては、学校運営協議会や全教職員で熟議するとともに、県、市内各校の状況や、意見聴取（在籍生徒、入学予定児童、各部活動の競技団体、地域住民や保護者の皆さん等）など、多角的に情報を収集、整理し、見直しや再編を方向付けていきます。

方向付けがどのようになろうとも、現在活動中の部が急に活動ができなくなるような状況は決して作りません。必要に応じて募集停止等の措置を行いながら、少なくとも、どの部活動も現1年生が3年生の夏までは活動できるようにしたいと考えています。状況変化を見極めながら、在籍生徒と入学予定生徒、両者の立場に立って、丁寧に検討を進めます。ご理解とご協力をお願いいたします。

## 10月の予定

5日（火）3年生第2回上進連テスト 14日（木）3年生修学旅行代替活動②

6日（水）～12（火）教育相談 20日（水）2年生土木出張PR

8日（金）3年生修学旅行代替活動① 21日（木）上越市教育委員会授業改善支援訪問

13日（水）地区駅伝大会 28日（木）2年生薬物乱用防止教室

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、今年度の合唱祭は、中止いたしました。

### <お知らせ>

8月30日（月）から、上越教育大学教職大学院の院生7名が、技術や道徳を中心に、授業づくり等を教職員とともにを行っています。11月末までの取組ですが、協力し合って生徒の学習活動の充実に努めて参ります。

### ◎宮島地区・山部地区にお住まいの保護者の皆様

先日は、スクールバス（一般混乗型デマンドバス）についてのご意見やご要望をいただき、ありがとうございました。学校職員の意見・要望と併せて、板倉区総合事務所へお伝えしました。

今後も、スクールバスへのお問い合わせは、区総合事務所へお願いいたします。